

『心の病気のある生徒の課題を捉える実態把握と有効な支援の方法について』



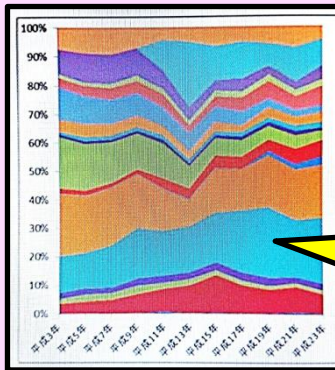
～文献事例の分析による調査研究を通して～

沖縄県立森川特別支援学校 比嘉 美保

現状

全国病弱特別支援学校及び病弱特別支援学級在籍の

「病類別調査」(全国病弱虚弱教育研究連盟)



最多!
増加!

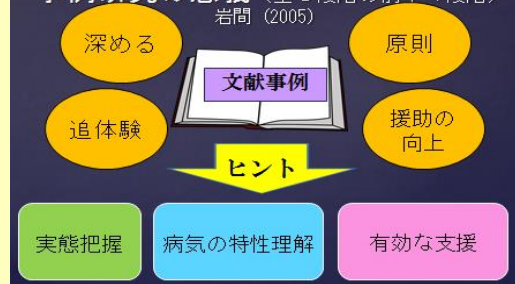
心身症及び行動障害
(精神疾患を含む)



心の病気のある児童生徒は様々な背景と絡み合い増加傾向にあります。
私たちにとって、とても身近な病気ということがいえます。

研究

事例研究の意義 (全8段階の前半4段階)
岩間 (2005)

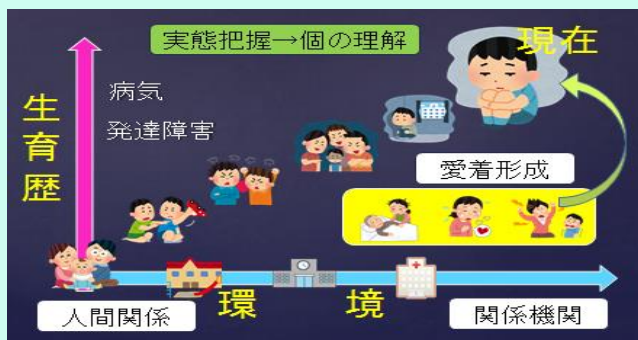


事例から、実態把握の項目、病気の特性、児童生徒の変容につながる支援についてのヒントを得ました。

成果



★問合せ: 森川特別支援学校・沖縄県総合教育センター特別支援教育班



「生育歴」「環境」の2観点で実態把握をすることにより、事例の児童生徒の全体像をイメージしやすくなりました。



事例から得た実態把握の項目、病気の特性、支援の方法は、実際の生徒支援に活かすことができました。



「心の病気のある児童生徒の困りに対する教師の支援」

丁寧な実態把握と病気の理解に基づいて見出した支援を継続することにより、教師も児童生徒本人も「本人の困り」に気づくことができます。この時互いに確認し合うという「言語化・共有化」が重要です。これは自立に向けた取組につながるきっかけになります。以上の流れを繰り返すことで、児童生徒との信頼関係は深まっています。